

令和元年度 施設長研修会

令和二年一月三十日（木）静岡市のグランシップ会議ホール風において二百八十一名が参加して令和元年度施設長研修会が開催されました。

午前の講演は「もうひとつの空気をどう創るか」と保育環境整備への取組を通して」というテーマでおお

ぞら教育研究所 代表の木村歩美氏に講演をいただきました。木村氏は写真や映像を使用し屋外における環境整備について大変分かりやすく説明いただき、自然を通じた環境の重要性を再認識しました。



また午前には会長講和として、静岡県保育連合会 土山雅之会長による「保育情勢報告」が行われました。近年では教育・保



「もうひとつの空気をどう創るか 整備への取り組みを通して」
おおぞら教育研究所代表 木村歩美氏

育に関する施策が毎年のように大きく変わる中、参加者は真剣な様子で情勢報告に耳を傾けていました。

そして、午後には「関わりの質を高めるリーダーの役割」と福祉と教育の機能を果たすために」というテーマで東洋大学教授の高



山静子氏に講演いただきました。

講演では、子どもと関わるうえで大切な視点を体験に基づき講演頂き、園での保育実践に活かせる有意義なものでした。

令和元年度 全保協 関東ブロック 保育士の専門性を高める研修会

令和二年二月二十五日（火）二十六日（水）また保育士等キャリアアップ研修の受講と兼ねて二十七日（木）浜松市のサーラシティ浜松において、八十六人が参加して、「保育士の専門性を高める研修会」が保育における家庭支援の基礎知識が開催されました。講義Iでは、淑徳大学教授 柏女霊峰氏より、「保



護者支援と子育て支援の役割と機能、現状と課題」について講義をいただきました。子ども・子育て支援制度の創設とその意義から幼保一体化でできる仕組みについて詳細に触れ保育のケアについ



てお話を伺いました。子どもの思いや保護者の意向、気持ちを受け止めることや受容の大切を考えることができました。講義IIは講義Vでは、日本社会事業大学教授 金子恵美氏により「保護者に対する相談援助」「地域における子育て支援」「虐待予防」「関係機関との連携、地域資源の活用」について講義をいただきました。演習グループ討議交え、意見を交換し合い貴重な時間をいただきました。

保育及び子育てに関する知識や技術など、保育士等の専門性を発揮し、子どもと保護者を取り巻く環境などに、今日の研修内容を現場に持ち帰り活かされることを応援しています。